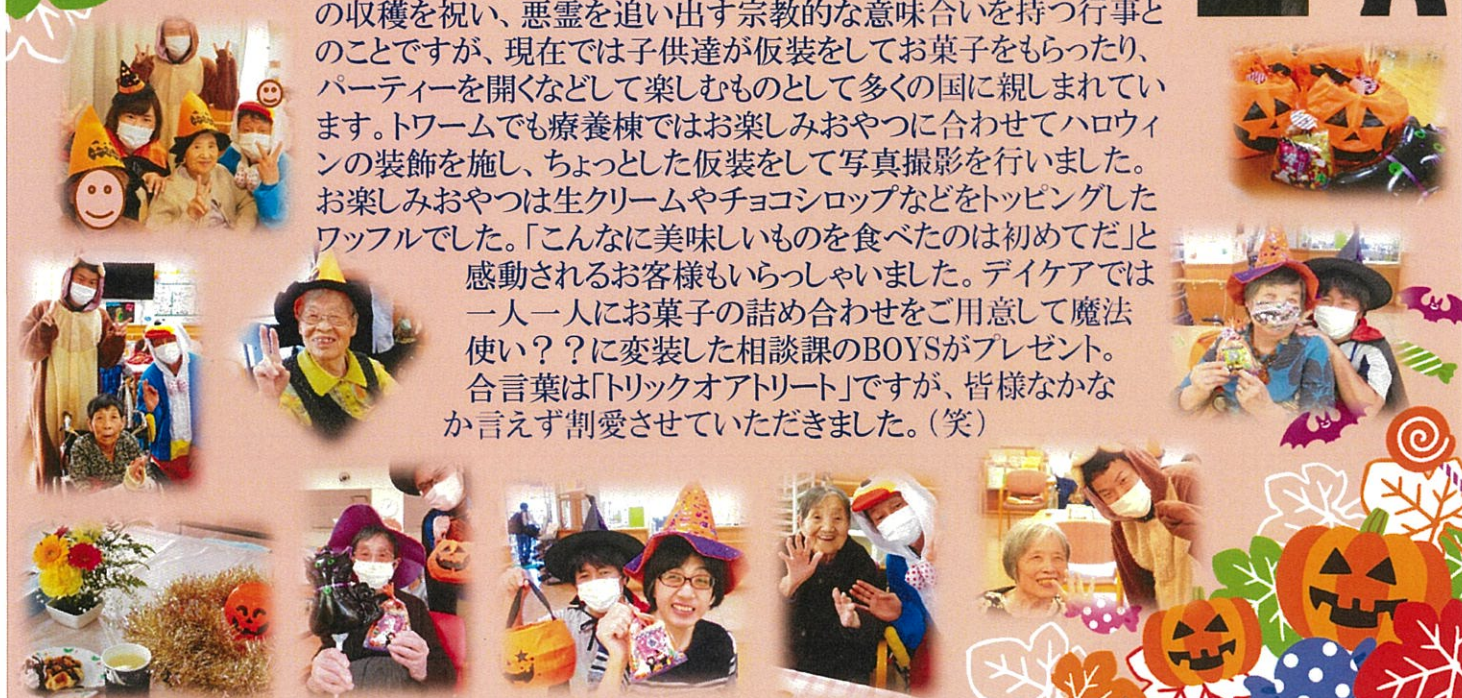


## HAPPYHALLOWEEN

毎年10月31日はハロウィン♪お客様達にとってはあまり馴染みがないかもしれませんが、最近では日本でも代表的なイベントの一つとなりました。ハロウィンはヨーロッパ発祥のお祭りで、本来は秋の収穫を祝い、悪霊を追い出す宗教的な意味合いを持つ行事のことですが、現在では子供達が仮装をしてお菓子をもらったり、パーティーを開くなどして楽しむものとして多くの国に親しまれています。トワームでも療養棟ではお楽しみおやつに合わせてハロウィンの装飾を施し、ちょっとした仮装をして写真撮影を行いました。お楽しみおやつは生クリームやチョコシロップなどをトッピングしたワッフルでした。「こんなに美味しいものを食べたのは初めてだ」と感動されるお客様もいらっしゃいました。デイケアでは一人一人にお菓子の詰め合わせをご用意して魔法使い??に変装した相談課のBOYSがプレゼント。合言葉は「トリックオアトリート」ですが、皆様なかなか言えず割愛させていただきました。(笑)



### トワーム熊谷自慢のお食事紹介コーナー



#### 祭り紀行 ～徳島・阿波おどり～

鶏肉も茄子も柔らかくおいしいと好評でした。押し麦入りの郷土汁もいつもの味を楽しんでいただけではいでしょうか。



#### ハロウィンメニュー

ハロウィンが近づくある日、かぼちゃハンバーグとおやつにかぼちゃのパパロアを提供しました。食事からも秋を感じますね♪



\*厨房入り口も、ハロウィン仕様でした

療養棟2階にメダカがやってきました。サービスステーションのカウンターに水槽を置いているのですが、このメダカちゃん達がとっても可愛らしくて、お客様からもスタッフからも愛されています。



### メダカがやってきました

カウンター前を通りかかっただけでは水槽を覗き込んで「おはよう」「今日もみんな元気か?」と、皆様思い思いにメダカちゃん達に声をかけていかれます。こんなに小さくても癒し効果は絶大です!! やっぱ生き物ってすごいですね。



メダカも夜は睡眠するとのことで、水槽に箱をかぶせて夜はお客様と一緒にメダカちゃん達もお休みしています。

## 面会制限を一部解除いたします

新型コロナウイルス感染予防に伴い、面会制限に対して長きにわたりご理解ご協力いただきまして誠にありがとうございます。県内の緊急事態宣言の緩和に伴い、当施設では面会制限を一部解除することといたしました。

- ◎相談室にてパーティション越しの面会となります。※お客様との接触はお控えください。
- ◎面会時間は15分となり、時間になりましたらお声掛けさせていただきます。
- ◎面会者は2名までとし、コロナワクチン接種を2回受けている方のみとなります。面会の際には接種済証を毎回確認させていただきます。お忘れになった場合は窓越し面会に切替させていただきます。
- ◎面会前に検温を行っていただきます。37度以上の場合は面会は中止となります。
- ◎多くの方にご利用いただく為に、土曜日につきましては1利用者毎月1回のみのご利用とさせていただきます。

その他にも注意事項がございますので、詳細につきましては請求書同封のお知らせをご参照ください。ご不明な点などございましたらお問い合わせくださいませ。

## お知らせ

トワーム熊谷も設立から16年目となりました。これも日頃からご支援をいただいております皆様のおかげと、心より感謝しております。これからもトワーム熊谷を快適にご利用いただけますよう、館内の空調設備と照明器具を総入れ換えすることとなり、10月より着工しており、工事完了は12月中旬予定となっております。ご不便をおかけする場合がございますが、ご理解・ご協力の程よろしくお願ひ致します。

照明は全てLEDに変わります。



## ユーチューブチャンネル開設!!

ついにトワーム熊谷もユーチューブデビューしました!! リハビリ課が中心となって、お家でも出来る体操を紹介しております。今までトワーム通信にて写真で紹介してまいりましたが、これからは動画で動きを確認しながら、一緒に体操することができます。まずは「瀬戸の花嫁」に乗せて下肢の運動♪まだどこか緊張気味のリハビリスタッフ達の様子も要チェックです。(笑)これからの更新に乞うご期待!!



## 施設長 矢島の独り言

幸せって何だっけ何だっけ……

これに関する議論はギリシャの哲学者プラトン(B.C.427 - B.C.347)の著書「国家」まで遡ることができます。この本の中に「透明人間になれる指輪(ギュグスの指輪)」の話があります。この指輪をはめて悪事をする人と指輪をはめない人について思考実験を行って次のように述べています。「指輪をしてあらゆる悪事をなして地位と名声を手に入れた人は果たして幸せだろうか? いや、彼は外的には恵まれていても、自らを醜く汚れた精神の奴隷にすることであり、魂がかき乱されるから幸せな人生とは言えない。一方指輪を使用しない人は理性を用いて自分をコントロールしているため幸せである。幸福な人生とは、理性を用いて善の何たるかを知り、富・名誉・食欲・性欲などに振り回されずに生きることである。」

ソクラテス、プラトンに続く西洋の哲学者たちは、理性的に考え生きることの重要性を説いてきました。ドイツの文豪ゲーテ(1749 - 1832)は「地上の子の最大の幸福は人格である」と言っています。ギュグスの指輪の逸話をふまれば、邪悪な性格の者は幸福になることはできない事が理解できます。

道元禅師(1200 - 1253)の弟子の孤雲懷奘[こうんえいじょう]が道元の教えを聞くに随って記録・編集した「正法眼蔵随聞記」にも、同じようなことが説かれています。「今の世、出世間の人、多分は善事をなしては、かまへて人に識られんと思ひ、悪事をなしては人に知られじと思ふ。此れによって内外不相応の事、出で来る。相構へて内外相応し、誤りを悔い、実徳を隠して、外相をかざらず、好事をば他人に譲り、悪事をば己に向ふる志気あるべきなり。」(現代語訳:今の世の中、多くの人は、善いことをしたらどうにかして人に知られようと思ひ、悪いことをしたら人に知られまいと思ふ。だから心の内と外が一致しなくなる。心の内と外をひとつにし、間違いを悔い改め、真の徳は内に隠し、外面だけを飾らず、善いことをしたら他人に譲り、悪事の責めは自分が引き受けるくらいの気概を持つべきだ。)

洋の東西で時空を越えて同じような気づきがあったことに驚嘆します。